

おっさん 班大純情夏合宿

作 今泉 浩幸

序 章

最初に出会った雨は、秋葉駅に向かう途中であった。
かわいたアスファルトの上にはできた黒い斑点は、みるみる広がり、
砂埃のにおいが妙に鼻になる。ぬれたフレームを拭きつつ鞆
行袋にすべてを収めると、さっきの雨に暗示される前途の醜
な行軍を前にもうほとして、自分の気がき、口癖がゆるぶ。

21:20 発だというのに、上野駅に着いたのは 6 時前。まもなく
早く気が現われる。14番線ホームはカラフルな身仕度の
若い男女にあふれ、はやめに来た自分たちの洞窟力に勝利感が
込み上げる。先輩たちはまだまだ現われる様子がない。

弁当を買った。上野駅ではどこか自分の文化圏とは異
質な文化圏がはじまる。長く博多で暮らしていたために感じる
のかも知れない。なにしろ、日塩より北へ行くのは今日がはじ
めてなのだから……。せつかくのセニヤリズムをぶち破
って、酒井さんが現われてしまう。

ホームの中央に陣取り、トランプをはじめると、いまは新
歓コソバ以来、一方ならぬお世話をはいままにしている
志波さんが種場、やや空白があって最後に金井さんが

元気がく現われて、まずは 5人とも無事に集合となる。

9時を過ぎるまでに14番線からは約2本の列車が発車していた。筑物の若い男又は皆これらの香森行に乗ってしまい、我々が「おが3号」が入線するころにはホームはすでに閑散としていた。自分の妻が東京で身ぐるみはぎとられやと汽車賃だけをひねり出し愛する妻子の持つみちのくハいま帰らんとする世間知らずの出かせず人と二重写しになり、勝利感も敗北感へとひしひしと様相を変え、3時間の努力も価値の薄らいだものとなっていた。

車両は1人で4座席を独占できる程になっている。まわりを見回しても子供づれの労働者団のおっさんの顔しか見えない。まあゆっくり寝られるであろうということと——寝るしかないというセゾンが大勢をおめおやすみなさい、ということにあいなる。

と、まあHK大河ドラマもま、昔、国大協も東洋の現国はこれしかないといわんばかりの80年代最初のベストセラーにふさわしい導入部となったが、傾向と対策「部誌」ともひもとき、みゆさん シリツボさという伝統的黄金の因襲を踏襲し、この辺で、製本代も驚かすでしょうから、おこちして後は思いつくままオムニバスでいきますぜ。

本章

親切近しということ、このあたりからは下書きなしのバッ
つけ本番、思い出し頃の支離滅裂、乱筆乱文お許しくださ
い。「おかしさは省略なした」という金言もあることではし。

『うつくしきもの』

これは何と言ってもし播平の下り、葉の切れ間からさし込む
太陽の光のすじと深い緑の山はた、若手山と就上極地の
眺望、突に乗降りしかたで育ち志波さん。(註このとき志波
さんは院中花輪でおつてら、またとないハ幡車ハハチの晴れ間を
見造したのでした。) それから、おだやかで日本毒の限り無
きブルー、巻袋で開いた季節はずれの瑛ヒメ軽海峡冬景色、
などなど 今となっては あらゆるものが美しいのです。時は
美しいものよりも美しく、平凡なものを美しく、みにくいもの
までも美しく変えてしまうのでしょうか。だから かつ村を浮文し
たのに 草の穂物まで出してくれた ナニ湖のドライブインみさこ
のおねえさんや 志波さんを魅了し後に大正安全蚊取り器の他
に石炭まで買わさせてしまった純代の薬局の女店員さんまでも
美しきものとして私の脳裏に刻まれている。(ところで、この
石炭ですが、駿湯の混浴で志波さんは若き女性に見とれ、
忘れてきてしまったんですよ……ほんとになんという人でしょう。)

『むくつけきもの』

まず、ぬれたパンツのゼニールパック、そして宇佐見君のジュースの飲みっぷり。且に5も本はかたかったでせう。

『とらぶる・あんど・あくしでんと』

才二日 宇佐見の牛一割れる。あたりかまわす一つ当りする。今泉君のめがねのフレームぶち折れる。以後たびたび後は百円ライターとはんだによる特殊技術を披露し、注目と喝采と驚きを浴びる。(現在も愛用中 55.1.26.)

才三日 金井さん 国民宿舎を出て数分後、暴風のよい音と共にパンク。酒井さんはぶちぎったまま帰らぬ人となりそうになる。つづいて八森あたりの海岸で屋敷砦にはまり、金井さんのフリーは坂も下れぬ重傷に陥る。そこで本日の宿泊地 十二湖駅で オーバーホール。僕と酒井さんをつきあいでグリスマップをやらせてしまう。しかし金井さんは立ち直れず、以後人一倍苦難の道を歩むことになる。

才五日 金井さん 今度はバースト。タクシーで数キロ五所川原まで戻る。待てる間に僕らはタクシーを呼んでもらった雑貨屋ですいかの接待をありがたくうける。

才六日 金井さん つづいてスローパンク 発見。言葉なし。

才七日 賢田にて リミット3分の高速輸送。ウルトラマン

もカラーマイナーが点滅しはじめたからが長いのも同様に、僕たちの場合はディーゼルカーがちゃんとまわってくれました。

オト日 ハ甲田に向けて着森を出発後まもなく5人ともどろどろのアスファルトの海へ突入。こどもあろうに海井さんはここで転倒。体中フルタールで黒く染まり、ガンに対する免疫も作れたかどうか。とにかくフードガードもフレームもバタバタと、タイヤの溝も溶けてなくなる大惨事でした。

オト日 金井さん ふうじやに祀られ、雨も降っていたということ。仙台に早く着き過ぎるということも一日休養。

番外『寝物語』

一巻 奥に入ったのは十二湖の無人駅。鉄筋コンクリート、トイレ付、夜間照明施設有、駅から0分、知恵の輪完備、木製ベッド3人分、ただし僕は2回寝てろけ落ちました。

次は、五所川原市役所前、消防署のおじさんありがとう。がきはうるさく、人目にもついたが、ながながよかった。僕としては、人に取巻さるすのも趣味のたもつてから。【がきはあとで再び反響出環の予定です。】

最悪は初日の男鹿のテント村、暴走車と爆竹と子供と中年のおばさんと育ててこのとつあんのラジオ体操はたまりませんせつと。

『精選名宿語録』

酒井さんはいつも「……というビジョン」、「ふたぐーゆうゆうがつかねえや」の一点張り、ワンプターンでうんざりという声がかしりというビジョンも……。そして、そして、小甲田のロープウェイの山頂公園駅近くで誕生したのが東工大芥川クリンガクラブ史に残る名言「右足もや、95°で前に出し、髌骨をすり下げ、踵に手とめて、できれば靭帯を前に、下くちびるを上くちびるに軽く乗せ、鼻から息を抜きつつ、のどみこを震わせ一気にんー。」これが正調、元祖、望村さんの「んー」ですが、現在では、その後の観察により「手の甲の方向を体側に合わせる」ことが重要なポイントとなっていることが判明いたしました。なお工大祭でのだぼだぼの背広を着た小川さんの軽快な足どりもレポートに加りましたので。

『拾遺談』

最後に、残った語を拾い集めました。

津軽半島の中央部 R339 に今泉という郡落があります。その長堂で4人は善戦勇んで大きな用をたしたのですが、私はささやかなアムドでそれだけできませんでした。なお、ここで酒井さんの7日連続の記録は収束しました。

五所川原市役所前広場では 大いに五所川原^{ごしやわら}人とコミュニ
ケーションを交しました。そのじやりどおの語る言語はまるで
裏国の舌のであり、彼らは僕らの展語に対して「女みたいだハ」
という印象を強く抱いたようでした。そして私は ガイツと
岸佐見は デブタツキ という称号をさすけられましたが、口さけ
男の称号がでずおたせころを見るも 口さけ女も音無まひは道
できずから たことと思おれます。ついに 彼らは 我れに対し、
親右を贈贈しめた。「暴しも落らつて 良えんやないけ」
高知風 米子なまりの博覧會できくしたてても対抗できませ
んでしたが、日3日4日 はずつと 彼らは 撤退しました。

十組田畑は 乙亥の録の前でのできごとです。おいどんは
ほに申えか 我を忘れ、いつの昔にか本によじのぼってしま
いたのです。あふれんばかりの観行路の嘲笑の賑は いっせ
に おいどんに 蒸がれ、おいどんは『この夏一棧に 4ヤンゼオン見』
金井さんは うつむきかげんに他人の振りを一。しかし、彼の
顔もまゝに染まっています。おいどんは 女端をなくし、またす
ら うらたゐた という 始末です。

籠園から 仙台に着いたのは もう夜中でした。七夕も残骸
しかなく マナウズはうるさく寝る ところもありません。朝方
「おい は 仙台駅の 主じゃ」と 自稱する 一見 おもしろい あん

らやんに誰か知られました。ここでも亀井さんは知るか知らずか他人の振りです。後の自慢は 斎藤とち子とリリース音
仙台駅で見かけたことがあるということと、近々TBC夏まつり
とかいうのがあって 仙台に 榊原郁恵や桑江知子が来て集る
というえつものに集約されます。僕らは こみあげろ 笑いを
持たえきった 甲斐あって ショバ代をとられることもなく、うち物
までいただいて 激動されてしまいました。

終章

序章では 田中幸洋子 田中ライバルに、本章では 田中みだし
田中ライバルと 驚いた式 壺かに 著作に 励みましたが、いすれも
4枚目の白で 国を無双を ぶって しまいました。 終章だけは
たんやおとで きぬば どうしけぐら いであがりたいと 思っています。
でも 自分だけは 尋さむから 十分 爆笑 しましたから 満足です。

とにかく、酒も煙草もやりません。米見さんのように 女の子たて
ひっかけません。 ただれた 赤ら 走りました。 いやいや なんと
笑しい 夏宿舎 でありましたか。 最後に 亀井さん、 どうぞ あり
がとうございました。 そして 出演者の 皆さん アライバシーの
優待を お祈り下さい。 僕は おれとお詫びだけは 忘れない
よい子です。 だって、新 観コンパの 翌日 だって ちやんと ごあい
さつ しましたから ね。

(おわり)